

鳥栖市教育委員会 議事要旨

- 1 **会 議 名**
教育委員会 8 月定例会
- 2 **開 催 日 時**
平成 29 年 8 月 16 日（水） 9 時開会 9 時 58 分閉会
- 3 **開 催 場 所**
鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室
- 4 **会 議 の 公 開**
公開
- 5 **出 席 委 員**
天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員
- 6 **出席事務局職員**
白水教育次長、江寄教育総務課長、平川学校教育課長、
佐藤生涯学習課長兼図書館長、木村学校教育課参事兼課長補佐、
中島学校教育課参事兼教育相談係長、山津生涯学習課参事、
豊増学校教育課長補佐兼学校給食センター所長兼学校給食センター係長、
原教育総務課総務係長、有馬学校教育課学校教育係長、
八尋生涯学習課長補佐兼生涯推進係長、久山生涯学習課文化財係長、
栗山生涯学習課図書係長
- 7 **傍 聴**
5 名
- 8 **経 過 報 告**
7 月定例会以降の経過報告
- 9 **議 事 録 承 認**
7 月定例会の議事録承認 【承認】
- 10 **議事及び審議結果**
議案第 12 号 平成 28 年度鳥栖市教育委員会事務の点検報告書について 【承認】
議案第 13 号 議会の議決を経るべき議案の原案について 【承認】
(平成 29 年度鳥栖市一般会計教育委員会所管補正予算)
議案第 14 号 平成 30 年度以降に使用する小学校道徳教科用図書の採択について 【承認】
- 11 **協議報告事項**
(1) 教職員の措置について
(2) 通学路の点検結果について
- 12 **今後の予定等**
教育委員会関連の主な行事について報告
- 13 **次回会議予定**
教育委員会 9 月定例会 平成 29 年 9 月 13 日（水）午前 8 時 30 分から

鳥栖市教育委員会 8 月定例会議事録

●天野教育長

皆さん、おはようございます。盆も過ぎまして、非常に過ごしやすい気候になってきたなと思っています。委員の皆様方におかれましては、宮崎市で行われました九州地区教育委員の研修会、雨ばかりでございましたけども、お疲れ様でございました。

早いもので、夏休みも後 9 日ばかりになりましたけれども、児童生徒の事故等につきましては、中学校の交通事故が 2 件、小学校が 1 件、市教委に報告が入っています。小学校の 1 件は、基里小学校の 5 年生が自転車に乗っていて、小さな道から大きな道に出た所で車と衝突したものです。歯が 3 本ばかり欠けたということもあって、ちょっと酷い事故で、経過を今、見ているというようなことでございます。子どもは元気にはしているようではありますが、そういう状況です。それと、熱中症の報告が、中体連の時に 3 件程入りましたけれども、夏休みに入ってから 1 件、入っております。これから、まだ暑くなるということでもございますし、水の事故とか交通事故が無いことを願っております。

それでは、只今より教育委員会 8 月定例会を始めます。最初に経過報告をお願いします。

●江崎教育総務課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございました。それでは、寄附、行事等の経過報告について御質問等ありましたらお願いします。いいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは次にいきます。次に 2 番、議事録承認につきましては、お手元の資料の 3 ページ、4 ページ、5 ページ、6 ページ、7 ページ、8 ページの方に議事録をまとめていただいております。何かありましたら、事務局の方をお願いしたいと思います。以上で、よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

次に 3、議事に移ります。まず、議案第 12 号、平成 28 年度鳥栖市教育委員会事務の点検評価報告書について、事務局の方からお願いします。

●江崎教育総務課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございました。平成 28 年度の教育委員会の事務点検評価を提出する流れになりますけれども、非常に鋭い指摘もいただいていますし、説明不足で「しているのに」というものもあったのではないかと考えています。次第の 11 ページにまとめていただいておりますけれども、何か御意見、御質問等ありましたら、どしどしお願いいたします。如何でしょうか。

報告書の 11 ページに、今、話がありましたように、教育委員会の活動、教育委員会のあり方等についても的確に書いていただいています。その中で、特に新教育委員会制度がスタートして、そして、今、こういった形で活動していますけれども、ややすると教育委員会制度が無くなるのではないかと危惧する声も聞かれるというふうな話も聞いております。そういった中で、原点に返って取り組むことも必要であろうというふうな御指摘もいただいているというのは、なかなか厳しい指摘だと思っています。委員さん方、この教育委員の活動のあり方等や会議のあり方等につきましても、何か

あったらお願いしたいと思いますけれども、如何でしょうか。戸田委員さん。

●戸田委員

教育委員会及びこの活動についての指摘としては、2つ指摘していただいていると思います。1つは「情報発信をもうちょっとしなさいよ」と。もう1つは「議論を活発化しなさいよ」という話で、前者の方は、理解できるのですがけれども、後者について、少し質問をさせていただきたいのですが、**「かつて、自由討論をしておられましたね。それをやっていないですが、如何ですか」**という指摘だと思えるのですが、これ、かつてどういうものがなされていて、どういった経緯で今日に至っているのかというのを少し教えていただきたいのと、あと、この香川先生がどういった意図の下、この質問、要は議論が活性化をもっとすべきだというのは、何を見て、このように指摘されたのか、その背景を少し補足いただけないかなと思います。

●原教育総務課総務係長

今、戸田委員さんから御質問ありました件で、自由討論に関しましては、すぐにお答えできませんので、会議後にお調べして、御報告をさせていただきたいと思います。

2点目の西九州大学の香川せつ子教授からの御指摘の背景には、教育委員会の会議そのものが形骸化しているのではないかと、そういったところに、やはり注意が必要ということで、そういった御指摘がなされております。議論を活発化して、色んなところに情報発信を進めていって欲しいということで、御指摘がなされたものでございます。以上です。

●天野教育長

ありがとうございます。これに関連して、どうですかね。古澤委員。

●古澤委員

昨年も同様の指摘があったと思います。その中で、私は委員として感じたことを申し上げました。例えば、情報発信のことについては、**「確かに何らかの形である必要があるのではないかと感じているけれども」**という話をした時に、当時の西山委員長は**「しばらくは推移を見ていこう」**みたいな感じで意見があったのかなど。その背景には、恐らく2年ほどかけて、早い所は、もう1年前から実施していましたが、教育委員制度を変えていって、鳥栖市も昨年から変わりましたが、そういう流れもある中でということもあったのかなとは思っていました。ただ、根底では、情報発信というのは、きちっとした形ではなくても、何らかの形で、日頃、自分たちが地域の中に出向いた中で、やりとりする。きちっとした情報を持っていて、その情報を地域の方にお伝えすることだけでも1つの情報交換に成り得るのではないかなど。きちんと教育委員会の事務局の方にお世話いただいて、仕事を増やして、こうするのではなくても、自分たちでできる分のそういう活動は、これからも気をつけてやっていこうかなと思っています。ここには出ませんけれども、私は教育委員を引き受ける際に、現状、どういうふうになっているのだろうと、久留米市時代から経験していましたので、流れは分かっていたのですが、色んな部分を見聞き、調べました。その中で、1つの課題が、色んなことをすることについて、事務局の負担を増やすなどということがよく書かれていたように思います。ですから、極力、自分たちの手で行える部分があるのかということを念頭に置いて、これからもやっていけたらなと思っています。この情報発信の答えにはならないかなとは思いますが、各自が重く受けとめて、個々の活動の中で実践していけたらと思っています。

●天野教育長

ありがとうございます。他はいいですか。

全国の色んな実践を見ると、例えば、教育委員会のこの会をもっとオープンな場所

ですとか、土日にやるとか、非常に工夫している部分もあると思います。それから、情報発信にしても、「教育長が講演されてもいいですね」ということもあって、教科「日本語」の講演を数回やったのですけれども、そういった面でも、私も、もう少しやっていかななくてはいけないのかなという気もしております。

もう1つ、自由討論については、過去においてやっていたと言いますか、時間的に、今日は何か課題について話をしますかということでやっていたと思うのですけれども、なかなか議論が深まらない部分もあるので、現在は、例えば、これについて今日、話し合いますよということで、事前に話し合いをして、課題を持って、委員さん方にそれをお願いして討議するという形をしますけれども。もう1つは、この場が終わって、教育長室で自由討議をやっていますね。そういった意味で、意見は私もしっかり受けとめて、事務局に伝えることをやっていますけれども、自由討論というのも1つの方向だなと考えます。この場での自由討論というのも有りかなと思っています。今後、この辺についてもしっかり検討していきたいと思っていますが、いいでしょうか。

（「はい」の声あり）

次に教育プランに関する事業ということで、これを見ていきますと、2人の外部評価委員さん、39、40ページにずっと書いていただいておりますけれども、その中で、2人の委員さんが同時に書いていただいているのは幼児教育と言いますか、幼保小教育が1点と、それからもう1つが、読書推進計画について、随分書いていただいておりますので、はっきり言って、幼保小連携なんかは、しっかり、やりはしているのですけれども、教育プラン中に重点化項目として出していなかった部分もあります。ということもあって、その辺を今後、考えていかなければいけないと思いますけれども。もう1つが、読書推進計画ということで、しっかりと書いていただいております。今回、計画の中にも策定委員会という形で、7月13日にしていただいているということもありまして、その辺について、佐藤課長の方から、良かったらお話をお願いします。

●佐藤生涯学習課長兼図書館長

今回、子どもの読書推進計画の策定について、数点、御指摘いただいております。この中で、実際に今、策定中ではございますけれども、3点ほど、この計画に盛り込む内容について、若干、御報告をさせていただきたいと思っております。現在、図書館の貸し出し等については、システムでやっておりますけれども、その更新時期が平成30年度に迎えることとなります。できれば、この時期に学校図書館とのシステムをネットワーク化することによって、学校図書館の充実、或いは、学校の学習支援を図書館の方で積極的に行っていきたいという構想を持っているところでございます。ただ、これにつきましては、まだ、予算等も関係しておりますので、今後、色んなところとの調整、或いは折衝をしていかなければならない部分でございます。

また、今年度は、移動図書館車の買い替えを予定しております、それに伴って、サービスの内容も見直すこととしております。巡回場所も大きく見直しをして、まちづくり推進センターを中心として、それ以外に、例えば、子どもさんがいる保育園、幼稚園、それから高齢者がいらっしゃいます、色んな福祉施設、そういった所にも巡回して行きながら、より多くの方に図書館の本に触れていただく、借りていただくような内容の見直しを図っているところでございます。こちらも現在、調整中でございますので、まだ、決定した内容ではございません。

それから、現在、図書館の方では、語り部と言うよりも読み聞かせというふうに言っておりますけれども、そういった活動をボランティアとしてやっていただくための色んな講座を積極的に行い、できれば、そういう方たちのネットワーク化も図っていききたいと考えております。こういった部分も、今回、この読書推進計画の中に盛り込ん

でいきたいと考えているところがございます。以上でございます。

●天野教育長

ありがとうございます。古澤委員。

●古澤委員

先ほど、教育長も仰いましたけれども、実際、活動を所管課でされているのだろうと思いますけれども、「幼児教育に対する視点が欠けているように思う」というふうな御指摘をいただいています。私もこれを見た時に「うん？」というふうに思いました。そう言えば、佐藤課長からは、なかよし会の活動のことはよく聞いていたけれどもという感じで、どこが具体的に所管していたのだろうというふうに私が思い浮かべきれないというのも悪いのですけれども。実際、色々活動されているのだろうとは思いますが、やはり大事なことなので、学校に上がってきただけという、法律上の学校教育法とか児童福祉法とかで、幼稚園、保育園の区別が、今は無くなりつつあるのかなとも思いますし、以前おりました久留米では、相互に、保育園の先生が小学校に行ったり、小学校の先生が来年から上がってくるという年長組でお勉強を教えたりとかいったのは、もうずっと前からやっていました。それと、幼保小のシンポジウムというのも年に最低1回は、所管する部局の主催のもと、大きなホールで実施をしたりはしていましたので、そういった活動をされているようであれば、きちっとした報告をどこかで受けたかったし、もし、されていないとすれば、今後の課題として思っただけならばというふうに思うところです。

●天野教育長

ありがとうございます。それでは、幼保小連絡会議等も含めて、実際にやっていることについて、平川課長、お願いします。

●平川学校教育課長

委員からの御指摘、ありがとうございます。確かにやっていることは、十分ではございませんが、やっていることがございますので、幾らか御報告ということで、取り組みについて、お知らせをさせていただきたいと思います。

今、教育長からお話がありましたように、幼保小の連絡協議会というのを年に数回、行っております。これは、小学校に上がってくる子どもたちの状況について、幼稚園、保育園の先生方、それと小学校の先生方等々の連絡、情報交換ということも行っております。

それから、特別支援教育の観点からでは、就学について必要な情報を上げていただくということで、年に3回ほど、就学相談会というのを行いまして、子どもたちの障害の状況に応じて、適切な教育環境を保護者の方にお示ししたりしているところがございます。それから、子どもたちの安全・安心のために、学校区ごとの危険マップ等の作成をしておりますので、その辺で、幼稚園、保育園と小学校、中学校も含めて安全確認を行ったりもしております。ただ、御指摘あったように、学力の問題であったりとか、生活習慣の問題であったりとか、そういうことについては、多少、御指摘いただいたとおり、まだ、取り組みが不十分であるかなというふうに個人的にも思っているところがございます。以上でございます。

●天野教育長

ありがとうございます。古澤委員、いいですかね。

●古澤委員

はい。

●天野教育長

幼保小の連携は、幼保小連絡協議会を年に3回やっていたのですけれども、昨年から

ら1回減らしまして2回にしました。何故かという、小学校での連絡が緻密に行われている状況があるので、うちが言わなくても、それぞれ連携をしっかりとやっていると。例えば、授業参観をすとか、園の方に先生たちが行くとか、それぞれの交流をやっている状況があったので、3回を2回に減らしました。ただ、第1回幼保小連絡協議会だけは、校長先生が替わられますから、校長先生と園長先生か主任さんか来て、その信頼関係を築いて欲しいということでやっています。今、課長が言いましたように、この幼保小連絡協議会は、1つは被害防止対策の方も含めて、小1問題を作らないためにもやっているということで、これについても外部評価の委員さん方にも報告しなくてはいけないのかなと思っています。

それで、今回、これだけ、しっかりと外部評価をいただきましたけれども、今、戸田委員さんから言われましたように、その趣旨等についても聞くためにも、1度、外部評価委員と教育委員との意見交換会をやる必要があるだろうというふうには思っております。伊藤委員は、昨年は、1回、この教育委員会を傍聴されたことがあります。そういうことも含めて、今後、検討していきたいと思っておりますので、また、よろしくお願ひしたいと思ひます。では、次にいっていいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、次に議案第13号、議会の議決を経るべき議案の原案について、事務局の方からお願ひします。

●平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございます。ということで、今回の9月補正ということであげるといふようなことだと思ひますけれども、御質問等ありましたらお願ひします。いいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、承認いただくということで、よろしゅうございますね。

それでは次にいきます。次に、議案第14号、平成30年度以降に使用する小学校道徳教科用図書の採択について、事務局の方からお願ひします。平川課長。

●平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

●中島学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございます。今、報告がありましたように、5月31日からスタートしまして、8月9日、採択地区協議会で1種選定という運びになりましたが、採択理由ということで、ここに採択理由をまとめていただいております。そして、具体的にも説明いただきましたけれども、委員さんの方から何か御質問と御意見等ありましたらお願ひします。古澤委員。

●古澤委員

皆さん、これを手に取って、例えば、小学1年生に上がったばかりの子どもさんには、若干大きいのではないかとか、重たいのではないかとこの懸念があるかもしれませんが、教える先生にしても、学ぶ生徒さんにしても、内容が文字も大きく、絵も大きく、綺麗に伝わりやすいような構成になっているのではないかと感じました。ですから、多少大きくて、重たかったりしたにしても、それは欠点ではなくて、長所だというふうな捉え方を私の場合、させていただきました。

●天野教育長

ありがとうございます。地区協議会は、各市教委から2名が入るということで、鳥栖市は私と、ご存知のように古澤委員さんが入っていただいて、最終の協議会に出たというようなことになりますけれども、他に委員さん方から何かありますか。

初めて使う道德の教科書ということで、研究部の方も、それから選定委員会の方もかなり協議がなされました。私も第三者でオブザーバー的なことで、意見を言わず、ずっと協議の状況を見せていただきましたけれども、8種から1種選定の、どれも素晴らしい教科書でございましたけれども、最終的には、総合的に色んな判断をして、道徳的な価値であるとか、主体的な学習態度であるとか、説明の平明さとか、紙面の明瞭さとかいうところも含めて、こういった結果に落ち着いたということになります。来年は、この教科書を使って、教科の1つとして道徳を指導するということになると思います。前は、先ほど話がありましたように、教職員の資質の向上というのがありましたので、8月7日に来年度に向けた教職員のための道徳の研修も実施したところでございますけれども、後は、この教科書を使って、先生方がしっかり指導していただくことを望んでいる状況です。委員さん方、いいでしょうか。副田委員さん。

●副田委員

1年生の、この「いのち」、「かんがえよう」というところを拝見させていただきました。例えば、81ページですけれども、「まなみがきゅうしょくをのこさなかったのは、どうしてでしょう」とか、「まなみのように、ものやお金をたいせつにつかったことがありますか」など、考えようという場面がありますね。ここを拝見しまして、先ほどと重なりますが、先ほどの子どもの読書推進計画を策定されていますが、本を読むことで、子どもたちが生きるための強さを学ぶ面があると、読書推進をすることが、子どもたちが生きるための強さも学ぶ面があるというところに繋がっているなどというふうに思いました。これは、どういったことかと言いますと、目の前のただ現実ではなくて、現実の先にある物の見方、想像力を育てるという、多分、読書の中には、ただ文字を読んで、その場で終わるというのではなくて、そこから自分の想像力を働かせて、こうなのではないか、ああなのではないかという、そのところで十人十色の選択肢が生まれてきて、また、生き方の選択肢が生まれてくると思うのですね。そこに、丁度、この命の授業のところ、考えさせるというところが、つまりは想像力を伸ばすというところに繋がって行って、やはり、その子どもたちの命を育むことに繋がっていくのではないかと思います。とても分かりやすい内容で、1年生の本しか見ておりませんが、いいなというふうに思いました。以上です。

●天野教育長

ありがとうございます。吉原委員。

●吉原委員

すみません。30年度からこの道德のね、入るということで、実際、年間何時間くらい教科としてあるのか、ちょっと教えていただきたい。

●天野教育長

中島参事。

●中島学校教育課参事兼教育相談係長兼指導主事

時間、35時間でございます。

●天野教育長

35時間ですので、毎週1本ということになりますけれども、しっかり、確実に、この道德の授業をですね。若い頃は、何かNHKのテレビをちよろちよろっと見せて終わるような、そういう時も過去においてはですよ、今はもう、そういうことは絶対あ

りませんけれども、そういう時代もあったのですけれども。しっかり考えさせる。それから、議論させるといいますか、主体的に取り組ませるような道徳の授業でなくはいけないということで。また、しっかり、これを見ながら、指導書も含めてくると思いますので、研究していただきたいと思います。古澤委員。

●古澤委員

先ほど、意見を申す時には、私は委員というのをあまり言わない方がいいのかなと思って、控えめな発言をしておりました。でも教育長が委員名を仰いましたので。しっかりと見させていただいた上で、どの分も素晴らしかったのですけれども、この分については、特に1年から6年まで、自然の中で、動植物やそれに触れ合いながら、お友達の絵も幾つも出てきています。そういう中で、考えながら成長していくといったのが手に取るように感じられるような気がしたものですから、いいのではないかなというふうに判断したところです。以上です。

●天野教育長

ありがとうございました。それでは、道徳は、この学研の教科書を平成30年度から使うということで御承認いただくということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございます。それでは次に4、協議報告事項に入ります。まず1つ目に教職員の措置についてお願いします。平川課長。

●平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございます。子どもの事故は随分減ってきて、本当に右肩下がりで減っているのですけれども、教職員の事故は非常に増えておりまして、去年は44件ありまして、その内、加害事故が25件ほどありました。今年も、しっかり指導しながら減らそうということで、一生懸命対応していますけれども、なかなか減らない状況ですけれども、その辺、課長、実際どういう状況で今、指導しておられるのかというところについて報告をお願いします。

●平川学校教育課長

本年度の状況は、被害事故が8件、加害事故が9件ということで、17件ということになっております。昨年とあまり変わらないペースでございます。ただ、被害事故の中には、駐車をしていてその場を離れていた、そして、他の車が横に停める時とかに、ぶつかってきたというような事故も3件、含まれております。これをカウントするのかどうかについては、ちょっと疑問があるところではありますが、今のところ、そういうふうな、報告を行っているところでございます。

指導については、毎回、校長研修会等で資料をもとに、事故の様態の特徴、基本的には車間距離をとっておけば、事故を防げたようなものが、たくさんございます。または、コンビニや量販店等での駐車場も入り口に近いところを、人間の心理としてはするのですが、ちょっと離れた、空いているところに停めれば防げたような事故。それから、あとは安全確認。それから、思い込みの事故。相手が止まるだろう、出てこないだろう、そういった「だろう運転」による、安全の不確認による事故、そういうものが大半を占めておりますから、校長研修会等で、その指導を行っており、必要に応じて教育委員会からも文書で各学校の先生方をお願いをしているところです。学校でも校長先生、色々アイデアを出されまして、家族の写真を車に張らせたり、それから、あってはなりません、もしあった時にどう対応するかというマニュアルを1枚のカードにまとめて、全職員に持たせたり、それから、全職員の連絡先を校長先生

以下、管理職の先生は全部、携帯電話に登録をしたり、逆に先生方は、万が一のために管理職の連絡先、それから、自分が入っている保険会社の担当の連絡先、そういったものを登録させたりしております。また、飲酒運転等の防止には、各学校の行事とか、学期の終わりとかには、お疲れさん会を職員ですることも必要でございますので、そういった場合は、終わった後、校長先生自ら一人ひとりの帰る様子の確認をされたり、ハンドルキーパーの先生方の確認をしたり、呑めない先生にはマークをつけてもらったり、そういう工夫をして、取り組みをしております。最後は、自分のこととして考えられるかどうかだと思います。人がこういう事故を起こしたというのは、自分の中で謙虚に受けとめる習慣を先生方には、つけていただきたいと、常々話をしているところでございます。以上でございます。

●天野教育長

ありがとうございました。何か御質問、御意見等、こういう案があるよというようなことがあればいいのですけれども。いいでしょうか。

(「はい」の声あり)

ありがとうございました。それでは、2、通学路の点検結果についてお願いします。平川課長。

●平川学校教育課長

(資料に基づき説明)

●木村学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事

(資料に基づき説明)

●天野教育長

ありがとうございました。それでは、この結果等について、何か御質問、御意見等ありましたらお願いします。古澤委員。

●古澤委員

このことについては、昨年も意見を述べさせていただきました。18ページの、このまとめは非常によくできているかなと思います。ただ、できれば、これに、例えば、下から2番目の麓小学校の3つの点の中の1番上にある、蔵上のコンビニ前の交差点というふうに書いてありますけれども、これはできれば、交差点の波うち歩道とかいうふうに書いていただくと、同じ交差点でも子どもが横断歩道を渡る時に、うねっていて、こけたりする危険性があるのだなというふうに、そこまで書いていただくと、より分かりやすいのかなと、昨年、発言した者としては感じました。それと、これは後ほどで結構です。せめて自分のエリアぐらいは、あと2つ内容がつかめないのが同じ麓小の中であるので、後で教えていただきたいと思っていること。それと、この扱いについてですね。これ、当然、実施しました。関係所管課に要望を出しました。所管課は予算の関係もあるでしょうから、どういうふうな対応状況になるのか、しているのか。ひょっとしたら、言われなくても、自分たちもパトロールやっているので、ハード面なんかについては、対応済みの部分もあるかもしれません。そこら辺も対応済みの分と、まだ要望のままとか、そこら辺が分かるような整理の仕方もあっていいのかなと。例えば、今、申しあげました波打ち歩道は、もう1年以上、何年も前からこういう状況でした。地元のことなので、しっかり気をかけて見ていたら、それから2、3カ月くらいして、あそこは、市の工事車両らしきものが通っていて、コーンを立てて調査をかけてありました。ここは、元々県道で、格下げで市道扱いになったものですね。200メートルぐらい、岸田橋の所からコンビニ前までが、普通に車を運転していても分かるくらい、ハンドルを取られるくらい、車道そのものも波打っているのですね。横断歩道の所は、幾らか弱くなっているけれども、その手前で渡ったりしよ

うものなら、すごく、よく、これを何年もほったらかしてあるなという気が、非常に
してしまっていて、要望する際にも、しっかりとこれだけではなくて、一般の交通事故を
減らす観点からも、道路の再整備というのは、きちっと言っていただいているのかな。
3か月後くらいに何かするのかというふうにして、何箇所か、うねる歩合を
図ってあったのかなと思ったのですけれども、そのまま、後はもうずっとそのまま
だったので、そこら辺の状況も分かればなど。これは、1つの例で、よその部分も恐らく、
まだ、未解決のままということがあるのではないかなというふうに危惧しております。

●**天野教育長**

ありがとうございます。木村参事。

●**木村学校教育課参事兼課長補佐兼指導主事**

波打ち歩道については、申し訳ございません、書いておりません。また、同じ所と
いうことで、やはり何回も何回も上げていくことも大事かなということ、ここは、
先ほど、古澤委員さんが述べられたとおり、市の維持管理課の管轄になっております
ので、維持管理課の方も、その辺りは把握して、どうにかしないとイケないというの
は考えていると思われまます。道路等の対策について、通学路に関しましては、対策が
早いです。今回、国道がありましたけれども、国道につきましては、国交省から7、8
人がワゴン車に乗って来られて、関係者と一緒に点検をしていただきました。この箇
所は旭小学校区です。残りの点検箇所については、県の場合は、もちろん県の土木事
務所、そして、市については、市の維持管理課が中心に予算を立てて、補正をあげな
がら、できるだけ早くやっていくようにして、進めているところです。この結果報告
は、県を通して国の方にも上げないとイケなくなっておりますので、もし、改善箇所
としてあげられた場合は、できれば100%を目指して取り組んでいくところです。可
能な限りではございますけれども、是非、継続して改善に努めて参りたいと考えてお
ります。ありがとうございました。

●**天野教育長**

ありがとうございました。他に委員さんから。いいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、通学路点検の結果については、こういう報告で、また、来年度、こうい
った形で報告になりますけれども、しっかり、今回あった分を含めて、よろしくお願
いしたいというふうに思います。5番、今後の予定についてお願いします。

●**江崎教育総務課長**

(資料に基づき説明)

●**天野教育長**

ありがとうございました。今後の予定ということで、9月13日の9月の定例会が、
議会の関係もありまして8時半からということになっておりますので、よろしくお願
いします。委員の皆様から何か御質問等ありましたら、よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

それではありがとうございました。これをもちまして、教育委員会の8月定例会を
終わります。皆さん、どうもありがとうございました。